

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	子どもの健康と安全		
担当者(Instructors)	渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業は、保育における健康（主として保健・衛生）と安全のための知識を身につけ、具体的かつ適切な対策や対応を想定・構想できるようになることを目的とする。正確かつ科学的な知識を習得し、保育の日常における事例の検討やグループワークなどによって適切な対策・対応について具体的に学び、保育実践の基盤を支えられる保育者をめざす。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストをとおして保育における保健・衛生・安全のための正確な知識を習得しながら、事例の検討やグループワークなどによって適切な対応や対策について学ぶ。なお、理解の定着・確認のために課題を課し、小テストを実施する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	子どもの健康・安全と保育の環境	子どもの健康を支える保育の役割、保育における安全管理・安全教育的の視点について学習する。	<input type="checkbox"/>
第2回	衛生と安全のための管理	保育の環境として求められる日常的な衛生管理・安全管理について学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	保育における感染症への対策・対応	乳幼児期に多い感染症について理解し、保育における対策・対応について学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	保育における危機への備え	保育場面における災害時や、不測の事態への対策・体制・対応について学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	子どもへの保健的な対応①	保育における子どもの傷病に対する基本的な考え方について学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	子どもへの保健的な対応②	保育における子どもの傷病に対する救命処置を含めた対応について学習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	個別的な配慮を要する子どもへの対応	個別的な配慮（疾患・障害など）に応じた保健的な対応について学習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	保育における保健的な計画と活動／まとめ	保育における保健的な計画と活動について学習し、全回を振り返ってまとめを行う。	<input type="checkbox"/>
第9回			<input type="checkbox"/>
第10回			<input type="checkbox"/>
第11回			<input type="checkbox"/>
第12回			<input type="checkbox"/>
第13回			<input type="checkbox"/>
第14回			<input type="checkbox"/>
第15回			<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に各回のテキストの対応ページを読んでおく（2時間）。授業後には授業内容を整理し、課題に取り組むことによって理解の定着を図る（2時間）。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

テーマのまとめり毎に課題を課し、到達目標と評価基準に基づいて評価する。提出物は個別に返却するとともに、必要に応じて全体に向けて

フィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	保育における健康・保健・衛生と安全のための正しい知識を身につけ、説明することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	身につけた知識に基づいて、子どもの健康と安全のための保育者としての役割を説明でき、対策や対応を構想できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

理解の確認のために、授業内で小テストを実施する。また、知識の定着のために課題を課す。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全 演習ノート（診断と治療社）	978-4-7878-2532-2
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜プリントを配布する。	
2		
3		
4		
5		